「第２期松本市下水道事業及び農業集落排水事業経営戦略（案）」とは？



意見募集期間：
令和８年１１月１８日（水）から
令和８年１２月１７日（木）まで

Q　どんな内容なの？

松本市の下水道事業を能率的かつ合理的に経営し、将来にわたり住民生活に必要なサービスを安定的に供給していくため、経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に取り組む必要があります。経営戦略は経営基盤の強化と財政マネジメントの向上に取り組むためのツールとして位置付けられており、国からもその策定・改定の推進が求められています。

松本市の下水道事業においては、平成２８年度に「松本市下水道事業経営戦略」（以下「第１期戦略」という。）を策定し、令和４年５月に中間見直しを実施しました。超少子高齢化社会の進展、節水型社会の定着に伴う水需要の減少、物価高騰・エネルギー価格高騰などの影響により下水道事業を取り巻く環境は一層厳しさを増しています。この度、第１期戦略の計画期間が終了することから、更なる経営基盤の強化と財政マネジメントの向上を図り、将来にわたって安定的に運営できるよう、経営戦略を策定します。

Q　市民生活にどんな影響を与えるの？

○下水道事業を取り巻く環境は大きく変化し、経営状況は厳しい状況にあります。

・人口減少などにより使用料収入は年々減少しており、今後も減少する見込みです。

・一方で、古くなった管渠の更新や災害に強い施設や管渠をつくるために、今後、多くの費用がかかる見込みです。最近では、物価上昇により費用が増えています。

○健全な経営を維持していくためには先を見通した計画的な経営が必要です。

・経営目標を設定し、施設の更新計画や物価上昇を踏まえ、経営目標を達成できるよう財政シミュレーションを実施した投資財政計画を策定しました。

○健全かつ安定的な経営で、清潔で快適な生活環境の確保と水質保全を将来にわたって持続していきます。

